

なぜ、ホクレア号は沖縄、日本を目指したのか？-ハワイ王国と大日本帝国-

日本レクリエーションカヌー協会理事

内田 正洋

なぜ、ホクレア号は沖縄、日本を目指したの
か？

ハワイ王国と大日本帝国



ホクレア号と打瀬船、内海丸

ホクレア号と布系人

布哇系日本人

ハワイは、かつて「布哇」と表記していました。日系人は日本から布哇へ移住した人たちですが、布哇で生まれ、後に来日した日系人の子孫もいます。いふなれば布系日本人。そういう視点も重要です。



琉球と布哇

琉球王国と布哇王国。この対比も重要です。琉球人は日本人ではないのでしょうか？

琉球のカヌー「サバニ」は、和船と同じ技術が使われています。布哇のサンパンSampanも和船からの技術。



計画の始まりから航海まで



ナイア・トンブソン氏が初来日し、我が家を訪れた。



ホクレア号を回航中



タイガー・エスベリ氏と
ニック加藤氏

ヤポネシアとポリネシア



ポリネシア考古学の権威、ビショップ博物館の篠遠先生と歓談中。
篠遠先生の発掘がホクレア号に科学的な意味付けをしていった。
日本人として日本的な発掘技術を使ってハワイのみならずポリネシア考古学を構築してきた篠遠先生の功績がホクレア号の航海を継続させる原動力になったのかもしれない。



ホクレア号の恩人、マウ・ピアイルグ氏も同乗してラパヌイ(イースター島)から戻った直後のホクレア号に乗っていた。次の航海、ハワイ～ミクロネシア～ヤポネシアへの準備が始まった。